

Weekly Report 2024-2025

ロータリーのマジック



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

会長：江島繁夫 / 幹事：岩本達也 / 副会長：島谷隆 / 会長エレクト：鈴木雅博 / 副幹事：堀井実 / S.A.A: 中井博

今週のプログラム	第2620回	12月20日
年次総会		
担当者	会長・幹事	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2619回	12月13日
クリスマス家族例会		
担当者	親睦活動委員会	例会場 アーベルアンジェ



江島会長挨拶

みなさんこんばんは
父がいつもお世話になっております。
今回父の代わりに会長挨拶をさせていただきます。娘の江島初奈です。
今年もたくさんのご家族の皆さんにご参加いただきありがとうございます。
日頃ご家族の皆さんのご理解のもと、ロータリー活動ができております。親睦委員会ははじめ皆さんの協力のもと、クリスマス家族会が開催できました。
ありがとうございました。
今回はクリスマス家族会とゆうことでクリスマスの豆知識を1つ紹介します。
いいこにしないとサンタさん来ないよと言ったことのある親御さんは多いのではないのでしょうか。
私も同じく毎年のように言われています。
嫌がらせて宿題をさせるしつけの言葉だと思っていましたが、これはあながち嘘ではないだそうです。
ドイツにはクリスマスにくるサンタクロースは二人いると考えられていました。

1人は私たちの知っている優しいサンタさん。
もう1人はクネヒト・ループレヒト、ブラックサンタです。
ブラックサンタは悪い子を袋で叩いたり、石や棒などの嬉しくないプレゼントをよこしたり、袋の中に悪い子をいれて連れ去ることもあるようです。クリスマスに来る悪い子に罰を与える悪魔のような存在だそうです。

みなさんもブラックサンタではなく赤いサンタが来ることを願っています。
今日もよろしくお祈りします。

岩本幹事報告

・クリスマス例会にてなし

岩本幹事報告（12月6日例会分）

報告 ・2025年2月23日(日)に実施の遍路道ウォークの案内
・書き損じはがきキャンペーンについて
・2004-2005年度の今井正信パストガバナーの訃報の件

12月20日 今日は何の日	今日生まれの有名人
シーラカンスの日/デパート開業の日/霧笛記念日	1973年 浅越ゴエ 1945年 黒澤久雄
1990年 初のWorld Wide Webのシステム稼働	1955年 野田秀樹 1941年 タイガー立石
1999年 ポルトガルから中国へマカオが返還	1946年 ユリ・ゲラー 1921年 五味康祐
誕生花	「カトレア」花言葉は「優美な貴婦人・魔力・魅惑的・わがままな美人」
誕生石	「ホワイトパールズ」宝石言葉は「知恵・信頼・機知・潔白・未来への希望」

手に手つないで
手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれまわれ 一つ心に
おおロータリアン おおロータリアン



例会スナップ



ニコニコBOX

子どもがたいへんお世話になりました。江島
誕生祝いをいただいて。鳥養
遅刻 1件

合計 3 件

本日の合計 17,000 円

2024-2025 年度 累計 493,000 円

出席報告

出席委員長：川口英樹

会員数 /	39 名	出席規準数 /	35 名
出席者数 /	24 名	欠席者数 /	11 名
出席率 /	68.57%	ビジター /	0 名
最終出席率 /	11 月 29 日	57.14%	→ 71.43%

メイクアップ

12月13日 高松RC 低田 藤田

facebook

facebook でたくさんの写真を公開
していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>



RI 会長からのメッセージ (12月)



心と頭で適応力を高める

ステファニー A. アーチック
2024-25年度 国際ロータリー(RI)会長

ロータリーの行動計画に示されているように、「適応」するためには、これまでの方法から一歩踏み出して、新しいことにチャレンジする必要があります。ここに適応力を示した二つのクラブの例をご紹介します。一つは「心」、もう一つは「クリティカルシンキング(批判的思考:物事の本質を見極め、論理的に思考すること)と戦略」で適応したクラブです。

インドのチャンディーガル・ミッドタウン・ロータリークラブ(RC)は今年初め、「心」を大切に行動を起こしました。会員の参加を促し、会員基盤を強化するため、クラブ会長のニキン・カプールさんは、退会した全ての会員に直接電話をかけ、元クラブ会員の同窓会に招待しました。

会には呼びかけに応じた8人が出席するという、素晴らしい結果となりました。これらの元会員は、現会員とつながることができただけでなく、会員同士の仲間意識や帰属意識を再び感じることができました。その夜の終わりまでに、クラブは元会員のうち6人を再び、ロータリーファミリーに迎え入れることができたのです。

勇気を出して元会員に働きかけたカプールさんは、適応力をもって新しいことを試ただけでなく、ロータリーファミリーにとって今でも大切な存在であると、元会員に知ってもらうことに成功しました。勇気を出したことが、成果につながりました。

人は誰でも自分が必要とされ、大切にされていると感じたいものです。そして、帰属意識を求めています。このように感じてもらうには、私たちが勇気を持ってそれを伝える必要があるのです。

さて、韓国のソウル・ハンスRCは、異なるモデルのクラブづくりを試みて、より大きな効果を得ました。過去4年間、このクラブは四つの衛星クラブ(奉仕クラブ、音楽愛好家のためのクラブ、職業人へのメンタリングを行う分野特化型クラブ、大学生のためのクラブ)を結成・維持してきました。

これらの衛星クラブは、イノベーションを通じて会員数を増やすため、このクラブが実施した5カ年計画の一部です。

これほど多くの衛星クラブを結成・維持できる秘ひけつ訣は何なのでしょう。このクラブと衛星クラブの会員基盤は流動的で、相乗効果に満ちています。衛星クラブの多くの会員がスポンサークラブの例会に参加し、スポンサークラブの会員も衛星クラブの活動に参加しています。

さらに、各衛星クラブは特定の活動分野に特化しており、スポンサークラブ会員や地域社会の人々に異なる分野でアピールすることで現会員や入会候補者にクラブの魅力を伝えていきます。このような柔軟な方法は、会員の入会と維持の促進の両方にとって絶好の戦略といえます。入会に関心があっても、一般的なロータリークラブの例会では都合がつかないという人は、衛星クラブのオプションを選択できるのです。

これらは、心と頭で適応したほんの二つの例です。クラブの個性を知るために、クラブ会員や地域の人たちに働きかけてみてください。クラブでどのような体験を求めているのかに目を向け、それを基にどんな改善ができるか検討してみましょう。

多くの人たちと話すことで、クラブは適応し、「ロータリーのマジック」を実践できるでしょう。

次週のプログラム

第 2621 回

1 月 10 日

新年家族例会

担当者 親睦活動委員会

例会場 天勝本店